

## 令和2年度 事業報告書

第20期(2020/7/1~2021/6/30)

(認定NPO法人)

特定非営利活動法人 だんだんの樹

### 1 事業活動方針による活動報告(法人全体)

1年前、今頃には新型コロナウイルス感染症は落ち着き、延期になった東京オリンピック・パラリンピックは大歓声の中、盛大に開催されているのだろうと考えていました。ところが状況は思うようには運ばず、未だ感染予防対策に心と時間と労力を費やす毎日です。そんな中でも私たち『だんだんの樹』は、おひとりお一人の利用者様とこれまで以上に丁寧に向き合いながら、サービスを提供し続けてきました。

昨年の総会では、コロナ禍の影響もあって計画を下回り創業以来の大きな赤字決算となったことをご報告しましたが、20期決算では、各事業売上げ、コロナ関係含む助成金、寄付金受取等で約700万円収入が増え、黒字転換にはならなかったものの、純損失で350万円ほどの改善がみられました。(詳細別紙参照)

私たちは、定款第3条にあるように「相互扶助の理念に基づき、《助けて》の声を上げた人に応えて《私が生きてきた私の町》の福祉に貢献すること」を目的としてNPO法人を設立し、20年間地道に歩んできてまいりました。そして『だんだんの樹』は、住み慣れたこの地で最期まで自分らしく暮らし、安心・安全な生活を共に作っていく仲間として地域の皆様から頼りにされる存在に成長しました。もちろんこれは、私たちだけの力ではなく、地域のみなさまのご支援があつてのことです。私たちはその期待に応えるため、この事業を安定的に運営して継続していく義務があります。

ここまで順調に歩んできた『だんだんの樹』ですが課題がないとは言えません。NPO法人は総会において運営に関する事項を決議し、その結果に基づいて活動していく団体です。自分たちが働くこの『だんだんの樹』の事業運営について、全ての職員が自覚をもって考え、その思い・夢・意見を伝えあい高めあっていく事が大切だと認識しています。昨年4月から1年かけて行った“夢ファンド”事業での5ヶ年計画作成等の取り組み、また今年8月から始まっている“経営アドバイザー派遣事業”では「中期経営計画の策定」を目指しています。そんな学びを通して5年、10年先を見据えたこれからの『だんだんの樹』を職員全員で考える1年にしていきたいと思えます。

(理事長：服部 恵津子記)

この機会に今一度自分自身を振り返ってみませんか

- ・なぜ「だんだんの樹」へ入ろうと思ったのか？
- ・「だんだんの樹」での活動を通して何を得たいのか？
- ・「だんだんの樹」の活動を通して何を実現したいのか？
- ・（5年後、10年後）どんな自分になっていきたいのか？

**吉田松陰が残した夢の大切さを表す言葉**

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、  
実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし」

私たちも21年前、小さいけれど熱い想い(夢)からの出発でした・・・

(理事長：服部 恵津子記)

2 事業収支に関する報告（第18～20期決算報告書からの抜粋） 単位千円

(1) 収入の部		(20期)	(19期)	(18期)
事業収入	小規模多機能	56,715	55,517	60,146
	訪問介護（障害関係他含む）	29,986	27,116	29,231
	居宅介護支援（認定調査含む）	7,156	7,550	9,725
	コミュニティ（補助金含む）	7,685	7,113	8,850
その他収入	受取会費	394	259	313
	寄付金受取	1,674	850	756
	助成金等（コロナ関係含む）	3,327	1,487	370
	その他収入	127	222	149
	(合計)	107,064	100,114	109,540
	(前年比)	6.9%増	8.6%減	6.7%減

(2) 費用の部		(20期)	(19期)	(18期)
事業経費	給料手当て	74,373	72,516	76,712
	法定福利費	6,793	7,016	7,375
	旅費交通費	1,287	1,103	1,371
	福利厚生費	1,575	1,240	906
	地代家賃	9,089	8,747	8,924
	水道光熱費	1,759	1,699	1,883
	消耗品費	1,555	1,483	1,122
	通信費	927	931	952
	食材費	3,003	2,779	3,539
	減価償却費	3,193	3,173	2,619
	保険料	1,149	1,141	1,087
	車両費	646	638	907
	その他	3,071	2,256	2,969
	(合計)	108,420	104,722	110,366
	(前年比)	3. 5%増	5. 1%減	3. 8%減

(3) 事業収支の部	(20期)	(19期)	(18期)
経常利益・損失	△6,874	△7,422	△2,411
営業外収益(寄付金含む)	2,401	1,327	1,215
助成金収入(コミュニティ分+雇用調整助成金)	3,327	1,487	870
営業外費用	△29	△25	△27
法人税・事業税等支払い分	△74	△74	△74
当期純利益・損失	△1,249	△4,707	△427

(4) 貸借対照表(令和3年6月30日現在)

資産の部(合計¥50,477,667)		負債・純資産の部(合計¥50,477,667)	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】計</b>	<b>23,523,364</b>	<b>【流動負債】計</b>	<b>13,872,615</b>
現金・預金	5,657,687	借入金	5,000,000
未収入金	16,103,702	未払い費用	5,207,078
前払費用	1,732,375	前受金	750,000
その他	29,600	設備等未払金	2,441,500
		その他	474,037
<b>【固定資産】計</b>	<b>26,954,303</b>	純資産の部(正味財産)	
建物	19,628,132	<b>【資本】計</b>	<b>36,605,052</b>
建物付属設備	3,841,846	利益剰余金	36,605,052
車両運搬具	1,924,980		
敷金・その他	1,559,345		

3 各事業の20期評価と21期計画について  
別紙

4 理事定数変更について

6月の理事会において理事定数変更の提案があった。

(理由) 設立から20年が経過し、法人の事業規模が当初より増大したことから  
業務遂行及び法人運営にあたる理事の人数を増やす必要が生じた

(変更内容) 定款第13条 この法人に次の役員を置く

(1) 理事3人以上7人以内

変更後 (1) 理事3人以上10人以内

5 理事改選に関する件  
別紙

6 職員の意識向上の為の取組み

(1) 外部研修受講状況

事業ごとに研修計画を作成し、実施している

(2) 内部研修

毎月の各事業別スタッフ会議、定例会等にて実施

(3) 各事業定例会開催予定

小規模多機能事業所だんだんスタッフ会議	毎月第4水曜日	17:30~
〃 リーダー会議	毎月1回	
訪問介護・障害者支援合同定例会	毎月第3水曜日	15:00~
〃 管理者・サ責打合せ	随時	
コミュニティだんだん	毎月最終火曜日	13:30~
居宅介護支援	2ヶ月に1回	

毎月それぞれの事業所スタッフが一同に会して行う定例会では、業務内容の共有、介護技術の習得、職員交流等を目的に、各種報告、事例検討、研修等を行ってきた。

(4) 新入社員研修

令和2年9月26日(土) 2名の新任職員に研修

## 7 組織運営に関する報告

### (1) 社員総会・・・コロナ禍の影響で紙面総会とし、同日・時に理事会開催

定時社員総会 (社員総数 43 名)	2020年9月24日(木) (出席 10 名、委任 21 名、表決 12)	・事業報告及び計画について ・理事改選の件 他
-----------------------	--	----------------------------

### (2) 理事会（事業運営会議）

毎月第4木曜日に担当理事と各事業代表者で法人全体の事業運営について話し合いを重ねています。その内容については各事業別定例会で報告していますが、その際にはスタッフ側からも提案事項を積極的に発信して頂きたいと思っております。

### (3) 懸案事項とその報告